

1 第1号様式（第5条関係）

社会福祉法人多摩市社会福祉協議会

ボランティア活動等振興助成金申請書

受付No.

社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会
会長 殿

受付印

記入見本(スキルアップ事業)

下記の通り助成金の申請をいたします。

令和〇年〇月〇日

団体名 ふりがな	たまボラ会 多摩ボラ会		
代表者 (自署名) ふりがな 氏名	たま 多摩 たまお		
	住所	〒206-0000 多摩市〇〇 〇-〇〇-101	
	Tel 042(373)6611	Fax 042(373)6629	E-Mail TAMA〇〇@〇〇.〇
連絡 責任者 ふりがな 氏名	たま 多摩 はな子		
	住所	〒206-0000 多摩市 △△△-△-△	
	Tel 042(000)0000	Fax 042(000)0000	E-Mail △△@△△.△
設立年月 (西暦 年)	平成5年4月 (西暦 1993 年)	多摩ボランティア・市民活動支援センター登録年月日	平成5年9月 (西暦 1993 年)

申請助成対象事業 (該当する項目に一つだけ✓点をお付けください)

- ボランティア活動等の質向上を図るために必要な事業
- 広く市民を対象としてボランティア活動等の普及及び啓発を行う事業
- 社会的・地域的課題解決のために行い、効果が期待できる事業
- 設立した年度又はその翌年度に登録団体となったものが、これから継続して行おうとするボランティア活動等を目的とした事業
- その他会長が必要と認める事業

事業名を見ただけでどのような講座か分かる名称

申請内容

事業名をご記入ください

 例)傾聴テクニック講座 例)講座

申請の目的・理由

助成金の使途を具体的にお書きください

普段の定例会では足りない技術を補うため、講師を招いて講座を開催する。主に講師の謝礼金として使用。

期待される効果

当該事業を実施することによって、機会される効果を分かりやすくご記入ください。

技術の向上。メンバーの活動の幅が広がる。メンバー間の技術が統一される等が期待される。

申請内容

実施場所（事業や研修等実施の場合）多摩ボラセン 活動室①

実施日・期間 令和8年6月8日（月）～令和8年6月22日（月）予定
(延べ日数 3日)

対象者・定員 会員12名	周知方法（事業実施の場合） 当団体の会報誌、活動日での告知
講師・指導者 〇〇大学教授 多摩 ボラ子氏	協力者・団体 〇〇大学 多摩ボラサークル

今回の助成金も見込みで明記してください。

当該年度の団体の予算概要	収入見込		支出見込	
	項目	金額	項目	金額
	会費年1,000円×12名	12,000円	消耗品費	10,000円
	助成金・補助金	20,000円	諸謝金	20,000円
	収益金（バザー等）	0円	印刷製本費	5,000円
	その他	0円	予備費	2,000円
	前年度繰り越し金	5,000円		円
	収入見込と支出見込は同額です。			円
	合計	37,000円	合計	37,000円

助成対象事業経費（予算書）	収入見込		支出見込		
	項目	金額	項目	金額	助成金充当額
	ボランティア活動等振興助成金	20,000円	①備品購入費	円	仮の金額を割り振ってご記入下さい
	会費	5,000円	②通信運搬費	円	
		円	③印刷製本費	5,000円	5,000円
		円	④諸謝金	15,000円	15,000円
		円	⑤消耗品費	5,000円	円
		円	⑥交通費	円	円
		円	⑦賃借費及び会議費	円	円
	円		円	円	
今回の事業でかかる費用のみ記入してください					
収入見込と支出見込は同額です。					
合計	25,000円	合計	25,000円	20,000円	
他機関からの助成等	1	助成団体名 なし 金額 助成の	2	助成団体名 なし 金額 助成の名称	
		ない場合は、なしと記入してください。			
◆当該事業に関する助成回数（今回分を含む） (3 回目)					

★添付書類

- 計画書
- 事業に関する広報紙・チラシなど内容が分かる書類
- 講師の氏名、略歴など分かる書類（講師依頼をする場合）
- カタログもしくは見積書（備品購入等する場合）
- その他会長が必要と認める書類（指示があった場合）

助成金申請額
20,000 円